山形大学農学部・慶應義塾大学先端生命科学研究所・東北公益文科大学・鶴岡工業高等専門学校

知の拠点
庄内
シンポジウム

庄内浜の海岸林と海ごみ

―その現状と再生を考える―

遊佐町から酒田市、鶴岡市まで 33 ㎞にわたる庄内海岸林。主要種であるクロマツは松くい虫被害により壊滅状態です。
日本海からの強風を防ぎ、庄内の暮らしや生産活動を守る海岸林の消失は一大事です。
また、庄内海岸に漂着する海洋ごみの問題解決に向けた先駆的な取り組みは、全国から注目を集めています。
再生に向けた行動につなげるため、現地の状況を知り、一緒に考えてみませんか。
どなたでもご参加いただけるシンポジウムです。

このシンポジウムは、
鶴岡市からの
補助を受けて
開催いたします



菊池 俊一
山形大学 農学部
准教授
専門：森林科学、環境保全学、
生態学



佐藤 司
鶴岡工業高等専門学校
教授・副校長
専門：高分子材料、環境材料、
リサイクル技術



呉 尚浩
東北公益文科大学 公益学部
教授
専門：公益学、環境社会学、
地域づくり論



一ノ瀬 友博
慶應義塾大学 環境情報学部
教授・学部長
専門：景観生態学、環境学、
農村計画学

日　時

2026年 **12月5日 土**
午後 2時 00 分
午後 4時 30 分

会　場

東北公益文科大学 鶴岡キャンパス大学院ホール
または オンライン（Zoom ウェビナー）

プログラム

第 1 部　午後 2 時 05 分～ 2 時 45 分

話題提供
山形大学　菊池 俊一
鶴岡工業高等専門学校　佐藤 司



第 2 部　午後 2 時 45 分～ 3 時 30 分

現地見学会レポート
東北公益文科大学　呉 尚浩

学生からの報告・提案～現地見学会を終えて
鶴岡市内高等教育機関　4 機関の学生



第 3 部　午後 3 時 30 分～ 4 時 30 分

話題提供
慶應義塾大学　一ノ瀬 友博

パネルディスカッション
パネリスト：一ノ瀬・菊池・佐藤
コーディネーター：呉



お申し込み
下記 Web サイトを通じてお申し込みください
https://knowledgehubshonai.iab.keio.ac.jp/

お問い合わせ
東北公益文科大学 大学院事務室
（知の拠点庄内 2026 年度幹事校）
TEL 0235-29-0555
E-mail gs@koeki-u.ac.jp